

北朝鮮弾道ミサイル発射事案 に係る情報連絡会議

【日時】

令和5年8月24日（木）午前7時30分から

【場所】

鳥取県 災害対策本部室

【参集範囲】

知事、統轄監、危機管理部、地域社会振興部、農林水産部

自衛隊、警察、海上保安庁（初出席）

※市町村、各総合事務所等には、映像配信

【議題】

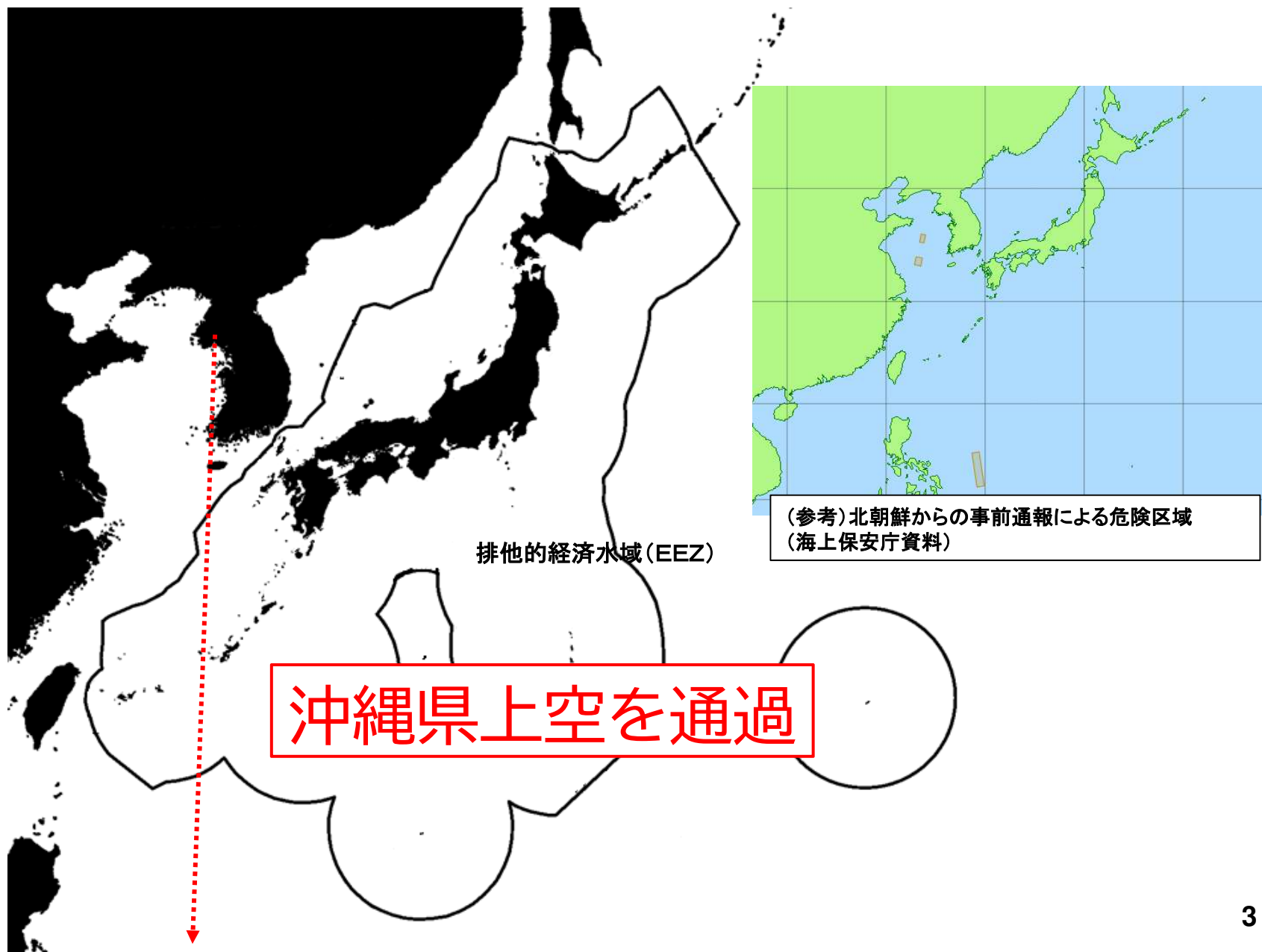
- （1）事案の経過と現状
- （2）県の対応方針
- （3）その他

ミサイル発射の状況

項目	概要
発射日時	8月24日(木) 午前3時51分頃
種類・発数	弾道ミサイルの可能性のあるもの(韓国軍発表は「1発」)(防衛省情報)
情報覚知	03:54 エムネット(発射・避難呼びかけ) ※Jアラートは沖縄県が対象
発射地点	北朝鮮北西部東倉里(トンチャンリ)付近
落下地点	複数に分離した後、 3:58頃、朝鮮半島の西およそ300キロの黄海 3:59頃、朝鮮半島の南西およそ350キロの東シナ海 4:05頃、フィリピンの東およそ600キロの太平洋 に落下(すべて予告区域外、我が国のEEZ外) ※ 4:00頃、沖縄本島と宮古島の間の上空を通過
最高高度	確認中
飛行距離	確認中
発射回数	本年14回目

現在のところ本県に係る被害、影響の情報なし

本日発射された弾道ミサイルの飛翔状況(イメージ)



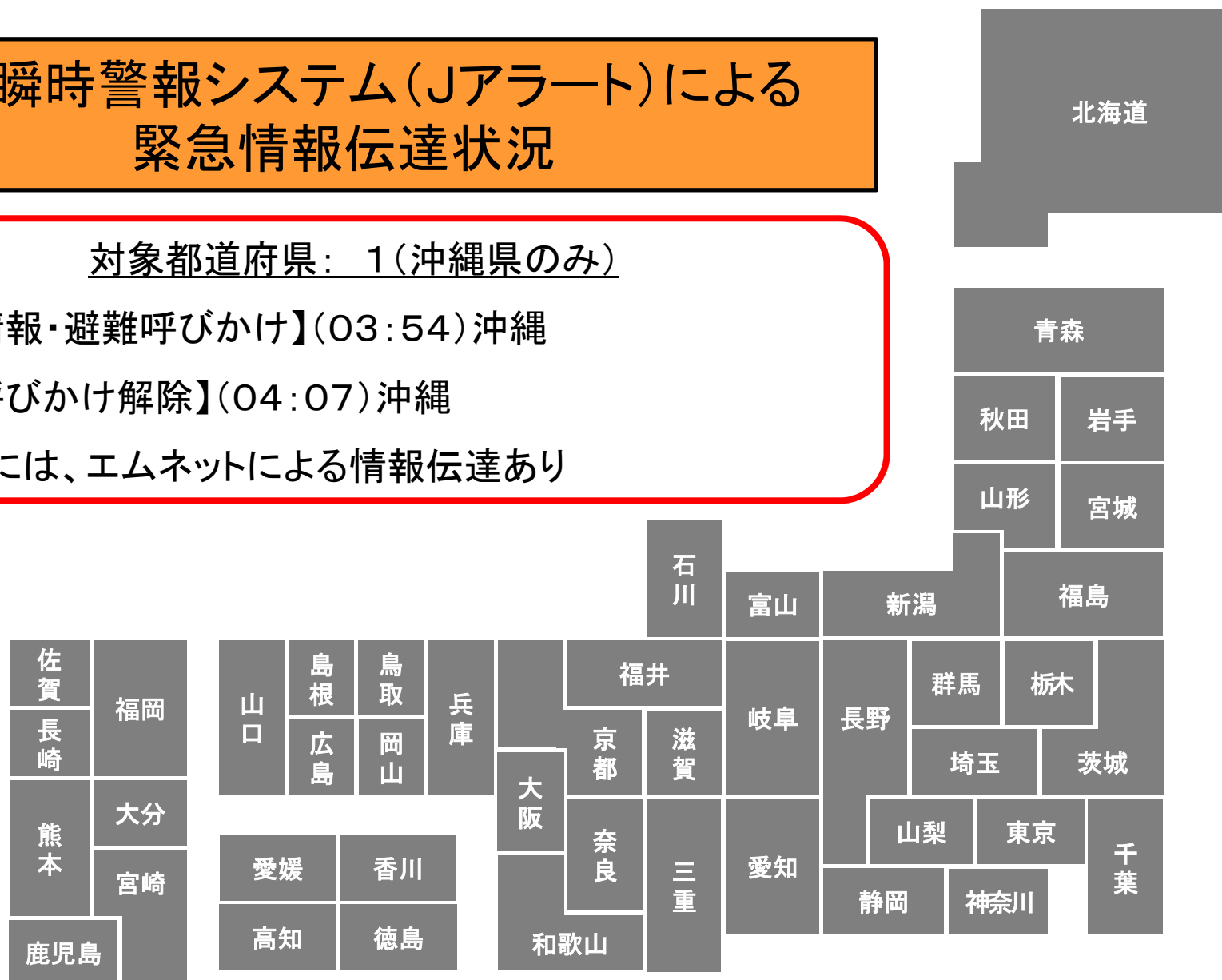
全国瞬時警報システム(Jアラート)による 緊急情報伝達状況

対象都道府県: 1(沖縄県のみ)

【発射情報・避難呼びかけ】(03:54)沖縄

【避難呼びかけ解除】(04:07)沖縄

※本県には、エムネットによる情報伝達あり



沖縄

「衛星」打ち上げをめぐる動向

日時	概要
2022. 12/19	偵察衛星の開発に向けた最終段階の重要試験を行ったと発表。 2023年4月までに軍事偵察衛星1号機の準備を終えると主張。
2023. 4/18	金総書記は軍事偵察衛星1号機を計画通り打ち上げるよう指示 <u>発射の最終準備を急いで終えるよう求めた。</u> 今後、複数の偵察衛星を続けて打ち上げ、 情報収集能力を強化するよう命じた。
4/22	浜田防衛相、破壊措置の「準備」を自衛隊に命令
5/15	北西部・東倉里(トンチャンリ)の「西海(ソヘ)衛星発射場」で工事再開の動き
5/16	金総書記、軍事偵察衛星の行動計画を承認。 <u>発射準備を終えた可能性あり。</u>
5/29	<u>北朝鮮は「衛星」と称する弾道ミサイルを発射することについて通報</u> <u>(5/31～6/11)</u> 岸田首相は、情報の収集・分析に万全を期すことなどを指示。 浜田防衛相は、破壊措置を自衛隊に命令。
5/30	北朝鮮幹部、軍事偵察衛星1号機を <u>「6月に間もなく打ち上げる」</u> と表明。
5/31	6時28分頃、東倉里付近から1発の弾道ミサイルの可能性のあるものを南方向に向け発射。6時35分頃、黄海上空で消失推定。 可及的速やかに2回目の打ち上げ実施を示唆。
8/22	<u>北朝鮮は「人工衛星」を打ち上げることについて通報</u> 8/24 00:00～8/31 00:00 破壊措置命令は継続中

(参考) 安保理決議と北朝鮮への制裁

北朝鮮に対して制裁を科す安保理決議は、2006年から2017年にかけての11年間で11本が採択されており、一連の安保理決議は、北朝鮮に対し次の3点を義務付けている。

1. 弾道ミサイル技術を使用した発射、核実験又はその他の挑発をこれ以上行わないこと。
2. 弾道ミサイル及び核関連活動を直ちに停止すること。
3. 全ての核兵器、核計画、その他のいかなる大量破壊兵器及び弾道ミサイル計画も完全な、検証可能な、かつ、不可逆な方法で放棄すること。

(以上、外務省HPから転載し一部加工)

《北朝鮮に対する経済制裁》

- ・平成18年10月 入港、輸入を全面禁止
- ・平成21年 6月 輸出を全面禁止

※ 令和5年4月7日 閣議において制裁の延長を決定
(令和5年4月14日から令和7年4月14日まで)

日本政府の動き

時間	概要
03:51頃	・北朝鮮がミサイル発射
覚知直後	・官邸対策室で情報を集約 ・緊急参集チームを招集
05:00過ぎ	・官房長官臨時記者会見
05:38頃から	・国家安全保障会議(NSC)の閣僚会合を開催
06:30	・官房長官記者会見

- ・海上保安庁は、22日に航行警報を出して船舶に注意を呼びかけ。
- ・国土交通省は、自衛隊迎撃ミサイル部隊が展開している沖縄県の場所周辺で、一部の航空機の飛行を自粛するよう求める航空情報を発出。(報道情報)

■総理指示事項(03:54)

1. 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
2. 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
3. 不測の事態に備え、万全の態勢をとること

■総理指示事項(04:16)

我が国上空を通過させる形での発射は、我が国の国民の生命、財産に重大な影響を及ぼし得る行為であることを踏まえ、

1. 上空を通過したと判断される地域に重点を置き、落下物等による被害がないか、速やかに確認すること
2. 北朝鮮の今後の動向を含め、引き続き、情報収集・分析を徹底すること
3. 米国や韓国等、関係諸国と連携し、引き続き、必要な対応を適時適切に行うこと

日本政府の動き(その2)

松野官房長官会見 概要(05:00過ぎ)

- 北朝鮮情勢に関する官邸対策室で情報を集約するとともに、緊急参集チームを招集し協議を行っている。
- 現時点で被害報告などの情報は確認されていない。
- 北朝鮮が、本日午前3時51分ごろ、北西部沿岸地域のトンチャンリ地区から南方向に弾道ミサイル技術を使用した発射を強行した。
- 詳細は分析中だが、発射された1発は沖縄県付近の上空を太平洋へと通過したと推定される。
- 政府は国連安保理の場を含め、アメリカや韓国など、国際社会と連携して対応するとともに国民の生命と財産を守り抜くため、引き続き情報の収集・分析および警戒監視に全力を挙げていく。

県の対応状況

時間	概要
03:54	<ul style="list-style-type: none">・エムネットでミサイル発射情報を受信→ <u>直ちに知事報告、知事から対応指示</u>→ 直ちに漁船等の安否確認を開始→ 職員参集メール等で庁内情報共有(04:00)
04:07	<ul style="list-style-type: none">・エムネットで避難の呼びかけ解除を受信「4時00分頃、沖縄県上空を飛翔し、太平洋へ通過したとみられます。避難の呼びかけを解除します。ミサイルの破壊措置の実施は無し。」→ 職員参集メール等で庁内情報共有(04:44)
04:26	<ul style="list-style-type: none">・鳥取県関係の安否確認完了→ 安否確認情報及び注意喚起をHP掲載
05:33	<ul style="list-style-type: none">・知事コメント発表

知事コメント

人工衛星と称しようが国連決議違反のミサイル発射は国際社会に向けた無謀な挑発であり、憤りをもって抗議する。

本県船舶等の安全は確認したが、政府には拉致問題解決も含め関係国と協力し実効ある対策を講じて欲しい。

(8月24日発表 平井知事コメント)

県民のみなさまへのお願い

- 不審な落下物には近づかず、警察や消防に通報してください。
- 今後も国又は県が発信する情報に注意してください。

拉致被害者家族(松本 孟 氏)からのコメント

軍事演習のたびに、繰り返される北朝鮮の挑発行為には大変な憤りを感じる。このような無謀で危険な行為は、即刻やめてほしい。

政府には、今回のことに影響されず、北朝鮮と対話できるよう、拉致問題解決に向けた交渉を進めてほしい。

(8月24日 松本 孟 氏 コメント)

情報収集、情報提供の体制

<県の体制>

警戒体制の一段のレベルアップ

防災当直に加え、要員の早朝からの勤務体制

<住民等への情報提供>

◆ 県ホームページによる情報提供

◆ 報道機関、市町村を通じた情報提供

<情報収集・連絡調整>

◆ 市町村・関係機関との連携

◆ 情報の伝達に万全を期すため3手段を確保

■ Jアラート

国→県・市町村への情報伝達(文字・音声の送信)

※防災行政無線を通じて自動放送

(鳥取県に飛来する可能性がある場合のみ)

■ エムネット

国→県・市町村・消防局等への情報伝達

■ 消防防災無線FAX

国→県→市町村・消防局等への情報伝達

北朝鮮の動向

- 8月21日から31日 米韓合同軍事演習(フリーダムシールド)
- 8月24日 先軍節
- 8月28日 海軍の記念日
- 9月9日 建国記念日

※ 北朝鮮国営の朝鮮中央通信は、「軍事偵察衛星の打ち上げに失敗。3段目の飛行中に事故が発生した。10月に3回目の発射を断行する」と発表

◆各部署の対応

<p>危機管理部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集、集約及び伝達 ・国、市町村、関係機関(自衛隊・海上保安庁・警察・消防)との連絡調整 ・住民広報(令和新時代創造本部と共同) ・今年度、ミサイル対応訓練を予定(県内10か所程度)
<p>輝く鳥取創造本部 (観光戦略課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落下後の国内便への安否確認
<p>農林水産部 (漁業調整課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落下区域操業漁船の把握及び安否確認 ・関係する漁業者への注意喚起
<p>教育委員会 (教育総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋実習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認
<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一に備えた対策 「屋内退避等の呼びかけ準備」 「県内に着弾した場合の対応準備」

(資料) 令和5年北朝鮮ミサイル等発射状況(1)

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
①	1月1日 (日) 02:50頃	短距離弾道ミサイル 1発 ※超大型ロケット砲と呼んでいる 短距離弾道ミサイルの性能確認 のための発射との北朝鮮の報道	平壤龍城付近	日本海 (EEZ外) ※設定した目標に 命中と発表	約100km	約350km
②	2月18日 (土) 17:21頃	ICBM級弾道ミサイル 1発 ※EEZ内への着弾はR4. 11. 18 以来で今回で12回目	平壤近郊順安付近	北海道渡島大島 西方約200km (EEZ内) ※Jアラート等なし	約5,700km ※約66分間飛翔	約900km
③	2月20日 (月) ①06:59頃 ②07:10頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※北朝鮮は600ミリ口径の超大型 ロケット砲の射撃訓練と発表	平安南道肅川付近	日本海 (EEZ外) ※395kmと337km 先の目標に命中と 発表	①約100km ②約50km	①約400km ②約350km
	2月23日 (木)	戦略巡航ミサイル 4発 ※24日付け朝鮮労働党機関紙 「労働新聞」による報道	北東部 咸鏡北道	日本海 (EEZ外) ※2,000km先の 目標に命中と発表	だ円や8の字軌道 で2時間50分飛行 との報道	
	3月9日 (水) 18:20頃	短距離弾道ミサイル 6発 ※数発が同時発射との報道 ※防衛省からの公式発表無し (日本政府としてはカウント外)	南浦付近	黄海		
	3月12日 (日) 未明	戦略巡航ミサイル 2発 ※13日付け	東部の咸鏡南道・ 新浦に近い景浦湾 コレ級(2000トン 級)潜水艦から	日本海 で7563s(2時間6 分3秒)~7575s (2時間6分15秒) 飛行		1500km先まで の距離を『8』字型 の飛行軌道

(資料) 令和5年北朝鮮ミサイル等発射状況(2)

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
④	3月14日 (火) 07:41~ 07:51頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※北朝鮮は地対地戦術弾道ミサイルと発表 ※韓国軍は「KN23」と推定	南西部ファンヘ 南道のチャンヨン	北東部ハムギョン北 道チョンジンの沖合 にある目標の島		611km
⑤	3月16日 (木) 07:09頃	長距離弾道ミサイル 1発 ※北朝鮮はICBM「火星17」と発表	平壤近郊	北海道の渡島大島 の西方約200km EEZ外	約6,000km超	約1,000km
⑥	3月19日 (日) 11:05頃	短距離弾道ミサイル 1発 ※北朝鮮は戦術弾道ミサイルと発表	北朝鮮西岸(東 倉里)付近	日本海 (EEZ外) ※800km先の目標 で正確に爆発と発表	約50km超	約800km
	3月22日 (水) 10:15頃	戦略巡航ミサイル 4発 ※24日付けの北朝鮮の朝鮮労働党 機関紙「労働新聞」の報道	東部・咸鏡南道 咸興付近	日本海		1,500kmから 1,800km (最長2時間半あ まり飛行)
⑦	3月27日 (月) 07:47頃 07:57頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※韓国軍は「KN23」と推定	内陸部の黄海 北道中和郡	日本海 (EEZ外)	約50km	約350km
⑧	4月13日 (木) 07:29	新型大陸間弾道ミサイル (ICBM) 1発 ※北朝鮮「朝鮮中央通信」の報道	北朝鮮内陸部	日本海(EEZ外) 1段目:東部・咸鏡南 道虎島半島沖10km 2段目:北東部・咸鏡 北道の東335km		
⑨	5月31日 (水) 07:47頃	弾道ミサイルの可能性のあるもの 1発 ※北朝鮮は新型衛星運搬ロケットを 搭載した軍事偵察衛星と発表	北朝鮮西岸 東倉里	黄海		

(資料) 令和5年北朝鮮ミサイル等発射状況(3)

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
⑩	6月15日 (木) 19:24頃 19:36頃	短距離弾道ミサイル 2発 ※北朝鮮の「軍事偵察衛星の打ち 上げ失敗」を発表	平壤近郊 順安(スナン)付近	石川県輪島市 舳倉島合 北北西約250km (EEZ内)	約50km	①約850km ②約900km
⑪	7月12日 (水) 10:00頃	ICBM級弾道ミサイル 1発 ※北朝鮮は固定燃料式新型大陸間 弾道ミサイル「火星18」の試射と発表	平壤付近	北海道奥尻島 西方約250km (EEZ外)	約6,000km	約1,000km
⑫	7月19日 (水) 3:29頃 3:45頃	短距離弾道ミサイル 2発	平壤近郊 順安(スナン)付近	朝鮮半島東の 日本海 (EEZ外)	約50km	①約550km ②約600km
⑬	7月24日 (月) 23:54頃 23:58頃	短距離弾道ミサイル 2発	北朝鮮内陸部	朝鮮半島東の 日本海 (EEZ外)	約100km	①約350km ②約400km
⑭	8月24日 (木) 3:51頃	弾道ミサイルの可能性のあるもの	北朝鮮北西部 トンチャンリ			